

## アメリカ研修 報告書 5日目 (12/14)

今朝もサンフランシスコはくもりでしたが、気温は13°Cと、いつも着ているジャケットがいらないぐらいの暖かさでした。

今朝は8時半に集合時間を設定しましたが、全員が遅れることもなく揃うことができました。中には、絶対に遅れないよう、交通手段のトラブルも考え、余裕をもって家を出発している生徒もいるほどでした。全員で帰宅時間を決めて帰宅連絡網で確認しあうなど、何とかしようという気持ちが形になってきています。

今日の午前中は、英語レッスンで生徒達は留学生と一緒にレッスンを受けました。授業内容はクラスのレベルに合わせて様々ですが、ほとんどがそれぞれの意見を求められるディスカッション形式となっていました。留学生の発言力や積極性に、生徒達は全員驚いていました。そんな環境の中で生徒たちが何に気づいて、どう適応していくかがポイントとなります。さっそく留学生と連絡先を交換したり、一緒にランチに行くなど一歩踏み出している生徒もいれば、まだその一歩が踏み出せていない生徒もいました。しかし、このグローバルな環境が実は、生徒達を大きく成長させ、自信をつけさせていきます。そしてこれから生徒達が生きていく上で、近い将来遭遇するであろう環境を体験する貴重な場となっていることは確かです。

午後は、現地で活躍している日本人、「上原輝彦氏」に来ていただき、社会人の視点から生徒達にお話しをして頂きました。上原氏は東京大学にて修士号を取得後、経営コンサルティング会社からライフサイエンス企業で活躍、その後 UC Berkeley にて MBA を取得。今は現地のベンチャー企業に勤務されています。

上原氏からはご自身の体験談をもとに、高校時代の教訓から大学、社会人へとそれぞれのステージで気づき、そして大切にしてきた教訓と信念を、具体例をもとに分かりやすく説明して頂きました。

質疑応答の時間では、生徒達は英語を話せるようになる勉強法や UC Berkeley へはどのように勉強して合格したのかなど、具体的に質問していました。

約1時間半という短い時間ではありましたが、上原氏の話から生徒達が何を得てそれをどう人生に活かしていくのかがとても楽しみでもあります。

今日が研修の折り返し地点となります。このあとの研修をより充実させていくために、「振り返り」の時間を設けました。ここでは2年生リーダーたちを中心に話を進め、ここまで研修で感じたことや想ったことをこれまでの行動をもとにそれが振り返りをしていきました。

感情があふれるあまり、泣き出す生徒もいました。みんなが本音で語ってくれた証だと思います。

これまで2年生が中心となっていましたが、この研修は参加者一人一人にとっての「リーダーシップ研修」もあります。今日の振り返りを受けて、語学学校最終日の金曜日に計画しているイベント（ビンゴ＆クイズ）は、1年生主体で、1年生のリーダーを中心に進めていくことになりました。2年生がアドバイザーとしてサポートしていきます。

1年生が2年生からバトンを引き継ぎ、どのようにチャレンジして成長していくのか、また楽しみです。

### 【生徒の感想から】

- ・語学学校の授業を受け、カリフォルニア大学を見学したりとお話を聞いたりして、英語をもっとがんばろうと強く思いました。
- ・大野さんのお話を聞いて、目標を持って勉強するのと、持たないですとのでは全然違うと改めて実感した。
- ・これまで他人の意見に合わせてしまうことが日本ではよくあったが、今日は他人の意見と違っても自分の意見を伝えることが出来た。
- ・大野さんが最後に語って下さったことが心に響いて勉強へのやる気がでました。
- ・Writing が追いつけていても Speaking が全然追いついていないことを実感しました。
- ・日本では、授業で当てられるまで発言しないことが普通だが、こちらでは先生が他の人を当てているにもかかわらず留学生がどんどん発言していたことが一番驚いた。
- ・大野さんから「学校では勉強だけではなく人間関係なども学べる。人生の中で大切なことを学校で得ることが出来る」と聞いて、すぐには必要でないと思うことも、との大きな種となることが分かった。
- ・大野さんの中学時代の話を聞いて、人はがんばればなんでもできると思った。



上原氏による講義



生徒からの質問



上原氏との記念写真



振り返りの様子